

Cinderella Story EXTRA STAGE



R18
For Adult Only

mon-petit

あらずじ

大丈夫！

プロデューサーが私達を守ろうとしてくれたように

今度は私がプロデューサーを守ってあげるから

ほら、気持ちよすぎてグチャグチャになった顔をみんなに見てもらおう

はは、こりゃアイドルっていうよりただの淫売だな

アイドル達に枕営業をせまるパトロンや上層部に逆らったプロデューサー。しかし、そんな彼の意向が許されるはずもなく業界の慣例を叩き込むという名目のもとで暴行されてしまう。

その現場を見せられていた渋谷凜は痛々しいプロデューサーの姿を見ていられず自分が体を売るから彼を助けて欲しいと懇願する。

こうしてアイドル活動の傍らパトロン達に体を売られるという彼女の苦難の日々は始まったのであった。

多形フェイムをこのいやらしいケツ穴を使ってセックスする姿をどうか御覧ください

んんん...

あーあー

んんん...

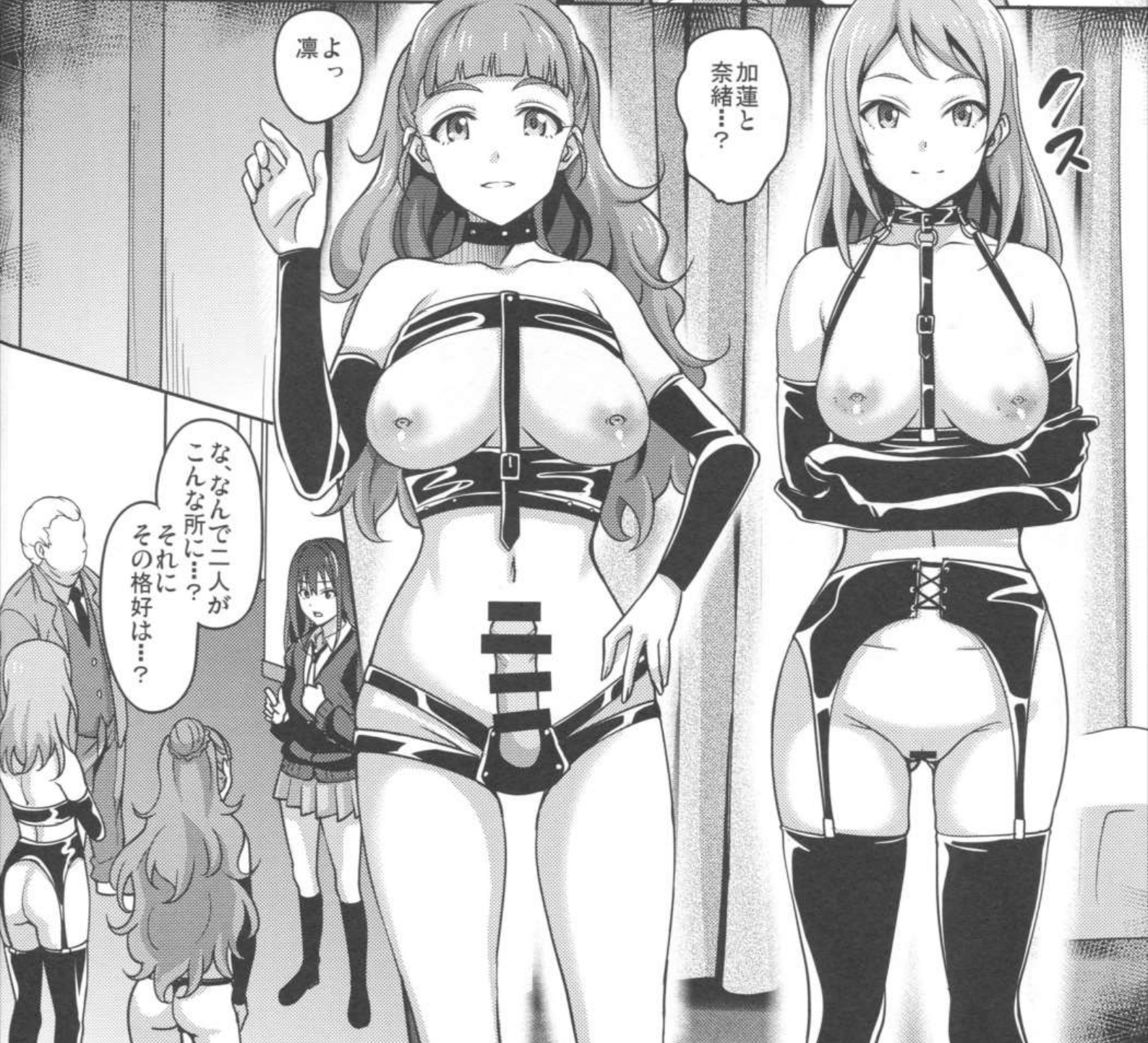


凛
今日は君に
会わせたい
子達がいるんだ

ガキーン



会わせたい
子達？



凛よっ

加蓮と
奈緒...？

クス

な、なんで二人が
こんな所に...？
それに
その格好は...？

二人は君より前から変態雌豚のレックスを受けていてね

アイドルとしては凛の方が先輩だが奴隷としては二人の方が先輩になるな

まあ論より証拠だ

おい加蓮凛のアナルを舐めろ

え？

ちよ、ちよっと加蓮！
一体何をツ！

何って、聞いてなかったの凛

凛のケツ穴を舐めて綺麗にしてあげるの

そ、そんな事...

今日は体育でもあったの？
汗で蒸れて酷い臭いになってるよ

凛ったら普段はすまし顔なのにここはこんなに臭いんだね

や、やめ...

嘘...臭がれる...私のお尻の穴を加蓮に嗅がれる...





大丈夫だよ
私が凍のケツ穴を
綺麗にして
あげるから

ダメ...ッ
加蓮
ツッ
そんな汚い所
舐めちゃ...ッ

ち、違ッ
そういう意味じゃ
なく...て...んっ

ヒッ

お尻

お尻



そんな...
お尻の中が
舐め回されてる...

こんなの汚いの
に
気持ち悪いはず
なのに...なんで...

や...そ...
だめ



ひあッ



あ、ああ...ッ



んんッ

!!

ふはッ

え?

ハッ

ズクッ



いやあああ
汚いきたない
キタナイッ

これ…加蓮の舌…
さっきまで
私のお尻を
舐めてた…

え?
なに?
にが…い?



いやッ
離してッ

間接的なのにそんな
反応したら
アナル奉仕なんて
出来ないよ?

そうなんだよ
凜には雌豚としての
自覚がまだ
足りなくてね

だからお前達に
手伝って貰おう
かと思っ

なるほど
そういう事
でしたか

それじゃ奈緒
凛に雌豚の喜びを
教えてあげなよ

わかったよ

ひと...

や...はあッ
そっちはあ...ッ

んんっ

ははっ
加蓮おかげか
ニユルリと入ったよ

いや...ダメッ
お尻なんて

ダメ？
でも凛のマンコ
お尻を苛められて
涎を垂らしてるよ？

ちが...ッ
そ...れ...はッ

んんっ



やあ♡

ふふ…
声に余裕が
なくなってきたね
もうイッちやい
そうなんだね凜

ほら我慢せず
イッちやいなよ

変態らしく
ケツ穴で
よがりながらさッ

カッ

ん♡

カッ

ん♡

カッ

カッ

おしりっ♡
おしりっ♡
イッちやい…

あ♡
あ♡
あ♡
あ♡

うんうん
よく出来ました
これからも
沢山気持よく
してあげるからね凜

あ…

こうして私の
牝豚奴隷への
教育の日々が
始まったのでした

カッ

カッ

先ず私に施されたのは徹底的な意識改革でした

凛 あなたは一体どんな存在なの？

わ、私は卑しい牝豚です…

私は卑しい牝豚ですッ

こうして私は徹底的に自分がどんな存在に墮ちたのか自覚させられたのです

声が小さいッ



次に私を待っていたのは男性を喜ばせる性技のレッスンでした

嗚咽を堪えながらの激しく喉を突かれて行うフェラチオ

加蓮が私にしたように男性のアナルを舐めて綺麗にする

あ、ああ…
凛ちゃんの喉マンコ
最高だよ…あつ…

おっおっ

体全体を使つてのソーププレイなど

どう？
気持ちいい？

あ、ああ…

ヌルヌルして
すごく…
いい…

奉仕する男性を
気持ちよくする為の
テクニクを沢山
覚えこまされたのです

私へのレッスンは
日常生活の中でも
施されていました



あ...

膣と肛門には常に
バイブを入れられ
その刺激によって
私はいつも性感を
高められていたのです



グ
グ
グ

グ
グ
グ



ハア



加蓮
奈緒...



グ
グ
グ

ん?

どうしたの
凍?

あ...

ハア

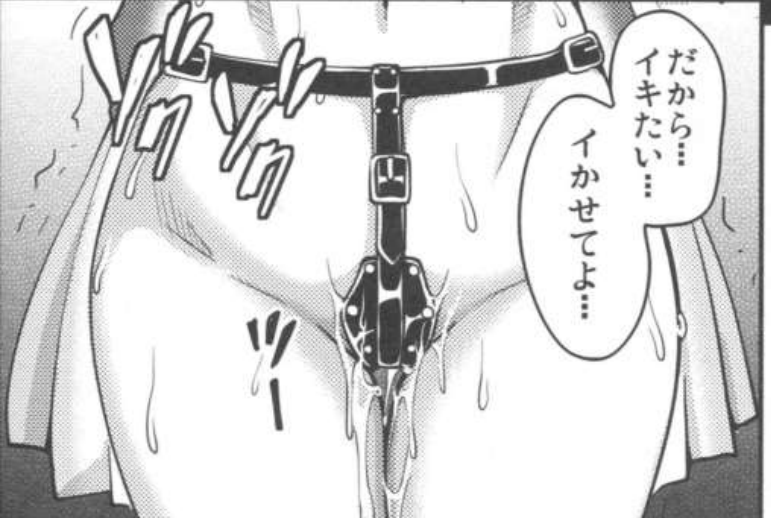
グ
グ
グ



その...
ずっとバイブの
せいで
刺激されて...

でも貞操帯の
せいで自分じゃ
どうする事も
出来なくて...

だから...
イキたい...
イかせてよ...



グ
グ

ハア



いいよ凜
ちゃんと
言えた
ご褒美に

あ...



ハア

うん...
私...はいやらしい
牝豚だから...

だから...
早くイかせて...

ハア



学校でイキたい
なんて牝豚の
自覚が出て
来たみたいだね

ハス
ハス



沢山
イかせて
あげる



もっとな...ッ
お尻もマンコも
もつと
グチャグチャに
してえッッ

は...

これえ...ッ
気持ち...いいッッ

あ...

あ...

こうして
私の体は常に疼く
発情豚へと変わって
いったのです

ズル

ズル

ズル

ズル

露出しながらイカされ
縛られながらイカされ

そして
大勢の人に達し
見られながら
イカされ

あ...はあッ

そ...
気持...

あ...
え...

ほ...

ほ...

ほら
凧のまんこがやらしく
ズボズボチンコを
啜ってる所を皆様が
見てくださってるよ

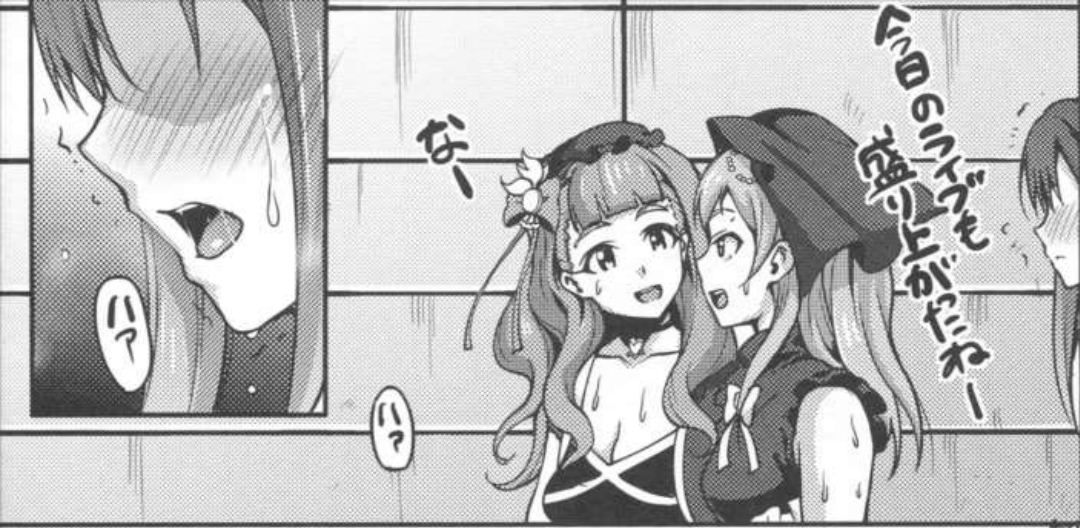
あ...
見られてる...

私のはしたなく
よがる姿を
みんなに
見られてる...

こうして私は
パブロフの犬のように
あらゆる行為で
快楽を覚えるように
なっていました

あ...

ハッ



ハア

ハア

なに

お疲れ様でしたー



お疲れ様でしたー



なに凜?

ねえ...
加蓮...奈緒...



あんなに大勢の視線を浴びたらもう私...我慢出来ないよ...

まんこでも
アナルでも

どっちでも
いいから早く
ぶち込んで...

オチンコ

ひんひん

いっ...

あ…ッ

中で…ッ

2本のパイプが
中でぶつかって…ッ
これ…すご…ッ

ガッガッ

あ…

ん

ガッガッ

ガッガッ

ガッガッ

あ

ん

フフ…
凍もすっかり
淫乱牝豚になったね

あ…ッ
あはあ

ガッガッ

こうして私は
身も心も堕ちて
行ったのです

だって…ッ
こんな気持ちいの…
我慢出来…なんっ

ガッガッ

ガッガッ

ん

そして
そんな私を
最後に待って
いたのは…

ほら
見て凜

今日は雌奴隷
レッスンの仕上げ
として特別ゲストを
呼んでおいたの

素敵
な格好だね

プロデューサー

し、渋谷さん

ほら、凜
プロデューサーに
あなたがどれだけ
立派になっただけ
見せてあげなよ

うん…

ほら見てよ
プロデューサー

私のまんこ
沢山レツスンして
常に疼いている
淫乱まんこに
なったんだよ

ドキドキ

それにアナルは
凄い臭いでしょ？

変態奴隷の
ケツマンコに
相應しいように
もうずっと
洗っていないだよ

ガク...

ほま

ひー...

鼻腔に渋谷さんの
股間の強烈な
臭いが...

う...

プロデューサーったら
私の臭いケツマンコの
臭いで興奮したの？

それなら
プロデューサーの
これで私が
どんな事を覚えたか
実践してあげる

そ、それは...

こんなの今まで
嗅いだ事は...

ん？

ガク!

おん...



や、やめて下さい
渋谷さん...んうッッ



あッ...

フフ...



ん...

ハッ...



あッ...ッ
おッ...ッ

喉まで使って
口全体で搾り
取られてるみたいだ

気持ち良すぎて
我慢なんて...
しかし私は...
渋谷さんの...

3...



ん…

う、うう…

どう？
気持ちいい？

ふふ…
もう出したくて
しょうがないんだね
プロデューサー

でもせっかくの
精子を口に
出すなんて
勿体無いし…

♡
ぶち撒けるなら
私のドスケベら
まんこの中に
沢山注いでよ
♡



ハァ

ハァ

ハァ



そ、それは
ダメです
渋谷さんッ

私はあなたの
プロデューサー
なんですよッッ

ホントはお尻の方が
好きなんだけど
今は沢山溜めてるから
こっちで我慢してね

凄く硬くて
太くて...ツ
こんなの
初めて...ツ

あ...すごい...
プロデューサーのおツ

ふふ...

あ...

あ...んツ

いい...ツ
プロデューサーツ
今まで一番
気持ちいい...ツ

気持ち
良すぎるよお...ツツ

お腹の中が
硬いもので
叩かれてるみたい





あッ♡

あ...
あッ...ッ

あ...だめ...
これ...ッ
腰...止められ...ッ

あッ♡
あッ♡



あ...んっ
ごめん
プロデューサー
私だけ
先にイッちゃった

淫乱な
下変態豚で
ごめん
でもプロデューサーも
ちやんとイかせて
あげるから

腰をグリグリ
回されるの
気持ち良いでしょ？

それに
まんで思っきり
ギューって
しめつけられたり

うっ…

あ…

思いっきり
腰を上下される
のもどう？

ダメです
渋谷さん…
それ以上は…ッ

プロデューサーの
チンコ凄く
硬くなってよ？

もう出したいのに
我慢してるんだ

そ、それは…
うっ…くう…

いいよ
我慢しないで
私の中に
ビューって出して

あッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

ん♡



う……ッ

ほら！
出してッ！
プロデューサーの
精子を
私の子宮に頂戴ッ

あ……ッ

くうッ

あはっ

中に……
お腹の中に
プロデューサーの
熱いのが
満たされてる……ッ

ぐん……

あ……
あ……ッ

これでもう
気兼ねなく
私とH出来るね

ふふ……
アイドルに種付け
しちゃうなんて
プロデューサー
失格だね

没になったネタ

人間様用のトイレの使用を禁止され学校ではおむつを履いているという排泄管理ネタを描こうと思ったけどページの関係上ボツにしました。



おむつの色が
まっ黄色になっ
随分と沢山
出したんだね凜

…ツツ

んっ
んっ
んっ

家で大きい方をどうしてもしたくなかった時はハナコのトイレを借りる事に。

自分の排泄物を家族に処理されるという羞恥プレイというか人間ではなく雌奴隷なのだという自覚を持たせる意識改革の一貫。

ごめんハナコ…
またトイレ貸して貰うね…

あらあら
ハナコは随分
今日は随分
沢山出したのねー

カッ…



あとがき

はい、ということでもんぷちです。

今回の本は前回の続き…と見せかけて正確には続きじゃないです。

ホントは前回の話のあとに枕営業をしてるしぶりんを武Pがボコボコにされながらも助けてなんかいい雰囲気であらゆるエッチになるという展開だったのですが、陵辱ないとか抜けるのそれ？と自問自答した結果パラレル的な感じで、導入部は前回は踏襲して内容は別物という感じにしました。

まあこっちが抜けるかどうかはまた別問題ですけど。

内容的にもページを絞ったせいでとっちらかった感じになっちゃったなあと反省してます。

もっとじっくり描写したかったですね。

とりあえずこんなところかな。

商業の宣伝とかは別にいいかな。
ポチポチやってくと思います。

それでは。

あっ

言い忘れてたけどこの先2P分スカ要素があるのでウンコみたいな汚いものを見たくないという方はこのままそっ閉じしてください。

それでは本当にごきげんよう。

皆様本日は
お忙しい中
お集まりいただき
ありがとうございます

私渋谷凪は
今日を持ちまして
アイドルを引退し

変態牝豚として
再デビューさせて
頂きます



ハ?

ドキ
ドキ

その証拠として
アイドルならしては
いけない脱糞姿を
皆様にご覧になって
頂きたいと思えます

ハ?

くはあ

んっ...

今日のために
一週間も溜めた
沢山の熟成ウンコ

どうかこの汚らしい物で
皆様のお目汚しを
する事をお許し下さい



あ...出る
出ます...ッ

んん...ッ

んん...ッ

んん...ッ

あ...ッ

ああ...ッ



は...いい
ありがとうございます
ごめいます...

渋谷くん
これからも
応援するから
頑張りたまえ



これはこれは
変態に相應しい
太くて臭いウンコ
じゃないか

ははッ

ハッ

ハッ

んん...ッ



奥付

CinderellaStory EXTRASTAGE

発行日 2015/12/31

発行者 mon-petit

著者 もんぷち

印刷所 緑陽社様

連絡先 lapiclazuli17@gmail.com



R18
For Adult Only